



「マルタの冒険くステキな園の一日」

#5 「ふしぎかいだん」



1、 ニンジン保育園の裏には小さな丘がありました。
マルタたちは、丘に登りたいようです。

マルタたちには、

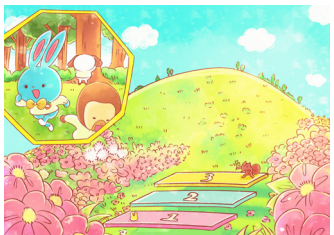
危ないところがあるからと、

登らせてもらえませんでした。



2、 それを知った天狗師匠は、
マルタたちにも登れる階段を
作ってみることにしました。

天狗師匠は、おまじないを唱えて、
持っていたうちわを一振り。
するとキラキラと虹色のふしぎな光が
輝きました。



3、 次の朝、階段が一段できていましたが、マルタたちは気がつきませんでした。

階段は、一日に一段ずつできあがっていきました。

一段一段、色のちがう階段です。

赤、青、黄色。

数字もかいてありました。

1、2、3。



4、ある朝、階段に気がついたマルタたちは、大喜びで階段を登りました。まだ5段しかありませんでしたが、マルタたちは少しだけ大きくなれた気持ちになれました。

それからというもの、一段ずつ出来る上がる階段のことを、マルタたちは「ふしぎ階段」と呼ぶようになりました。



5、階段の数字は10と書かれています。

登ってみると、今までにみたこともない

大きな花が咲いていて、

大きな木の上には鳥の巣を見つけました。

お母さん鳥がエサを持ち帰り、

小鳥に食べさせているところが見えました。

マルタたちは、色々な色になっていく

ふしぎ階段を登り、

新しい発見をたくさん見つけていきました。



6、ある日、マルタたちは、

ふしぎ階段が頂上までできあがっていることに
気がつきました。

きれいな色の階段は、

まるで虹がかかっているようでした。



7、「やった〜完成してる！」

マルタたちは大喜びで、勢いよく階段を
駆け上がっていきました。

ところが、階段の途中で、オックンとウルルの足が
とまってしまいました。

ふたりは汗をかいて、

足がプルプル震えていました。

階段は思ったよりも高くなっていて、
疲れてしまったのです。

マルタやムーちゃんも疲れているようでした。

モン吉やトムも階段に座り込んでしまいました。

階段には15とかいてありました。

「10と5で15」頂上までの数字は

20「10と10で20」あと少しのところで頂上です。



8、 マルタたちはみんなで励まし合いながら
一段一段、登っていきます。

「あと少しだよ！みんなでがんばろう！」
みんなで声を出すことで、力が湧きます。



9、そして、頂上についたマルタたちは、

声をあげて喜びあいました。

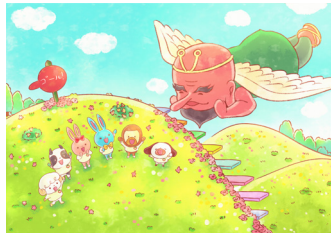
頂上からみえる景色が、今までにみた事もないくらいにとてもきれいでした。

遠くに山や町がみえました。

雲が近くにみえ白い鳩が頭のすぐ上を飛んでいました。

マルタたちは、みんなでふしぎ階段を登れたことに瞳を輝かせ

「ヤッホー！」と叫びました。



10、「やゝッホゝ！」

どこからか、やまびこが聞こえてきました。

その声は、背中の羽を。パタ。パタと

羽ばたかせながら、マルタたちの遥か上空で

満足そうに微笑む天狗師匠でした。